

えびの

市議会だより

2019
第120号

平成31年4月20日

Ebino City Assembly Report 2019/4/20 Vol.120



6月定例会は
6月6日
開会予定

平成31年1月臨時会 議案等審議結果表

1. 議案等

会期：平成31年1月31日（1日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第 1号	専決処分した訴えの提起について	—	—
報告第 2号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—	—
議案第 1号	公の施設の指定管理者の指定について	—	原案可決
議案第 2号	平成30年度えびの市一般会計予算の補正(第9号)について	—	原案可決

平成31年3月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

会期：平成31年2月26日～3月20日（23日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
諮問第 1号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	別段異議はない
議案第 3号	副市長の選任について	—	同 意
議案第 4号	公平委員会の委員の選任について	—	同 意
議案第 5号	教育委員会の委員の任命について	—	同 意
議案第 6号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	総 務 教 育	原案可決
議案第 7号	第3次えびの市男女共同参画基本計画の策定について	総 務 教 育	原案可決
議案第 8号	えびの市空家等対策計画の策定について	総 務 教 育	原案可決
議案第 9号	えびの市景観計画の策定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第10号	えびの市景観条例の制定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第11号	えびの市介護保険給付費準備基金条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第12号	えびの市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第13号	えびの市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第14号	えびの市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第15号	えびの市道路占用料条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第16号	えびの市営住宅条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第17号	えびの市小集落改良住宅条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第18号	えびの市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決

議案第19号	市道の路線廃止について	産 業 厚 生	原案可決
議案第20号	市道の路線認定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第21号	平成30年度えびの市一般会計予算の補正(第10号)について	平成30年度予算 審査特別委員会	原案可決
議案第22号	平成30年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第5号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第23号	平成30年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第5号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第24号	平成30年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第5号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第25号	平成30年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第1号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第26号	平成30年度えびの市水道事業会計予算の補正(第5号)について	総 務 教 育	原案可決
議案第27号	平成30年度えびの市病院事業会計予算の補正(第5号)について	総 務 教 育	原案可決
議案第28号	平成31年度えびの市一般会計予算についての修正案 平成31年度えびの市一般会計予算について (修正部分を除く原案)	平成31年度予算 審査特別委員会	可 決 (修正部分を 除く)可決
議案第29号	平成31年度えびの市国民健康保険特別会計予算について	産 業 厚 生	原案可決
議案第30号	平成31年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	産 業 厚 生	原案可決
議案第31号	平成31年度えびの市介護保険特別会計予算について	産 業 厚 生	原案可決
議案第32号	平成31年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について	産 業 厚 生	原案可決
議案第33号	平成31年度えびの市水道事業会計予算について	総 務 教 育	原案可決
議案第34号	平成31年度えびの市病院事業会計予算について	総 務 教 育	原案可決
議案第35号	平成30年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について	—	原案可決
議案第36号	平成31年度えびの市一般会計予算の補正(第1号)について	—	原案可決

2. 請願・陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
陳情第 6号	介護従事者を確保するために実効性のある対策を講じることを求める意見書を国に提出することを求めることに関する陳情書	産 業 厚 生	採 択

3. 委員会提出意見書案

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
委員会提出 意見書 第 2 号	介護従事者を確保するために実効性のある対策を講じることを求める意見書	—	原案可決

平成31年

1月臨時議会

平成31年1月臨時議会を1月31日の1日間開催し、報告2件・議案2件を審議しました。主な審議の結果は次のとおりです。

指定関係

議案第1号 公の施設の指定管理者の指定について

白鳥温泉上湯及び下湯の施設の管理について指定管理者を指定するためのものです。

施設名：白鳥温泉上湯・白鳥温泉下湯

指定管理者：一般社団法人

こころざし・ふるさと再生委員会

指定期間：平成31年4月1日から平成34年3月31日までの3年間

平成31年

3月定例会に提出された議案

平成31年3月定例会は2月26日から3月20日までの23日間開催し、諮問1件・議案34件・陳情1件について審議しました。（※審議結果の詳細は、P. 2～3を参照ください。）

計画策定の議案

議案第7号 第3次えびの市男女共同参画基本計画の策定について

第2次えびの市男女共同参画基本計画期間が平成30年度で終了することに伴い、男女共同参画施策を総合的かつ計画的に推進していくために平成31年度から平成35年度までを計画期間とする第3次男女共同参画基本計画を定めるものです。

議案第9号 えびの市景観計画の策定について

景観法の規定により景観づくりを総合的かつ計画的に推進するためにえびの市景観計画を定めるものです。（詳細はP. 6を参照ください。）

条例の議案

議案第10号 えびの市景観条例の制定について

自然・歴史・文化に育まれた景観を守り育て、景観法の規定に基づき必要な事項を定めることにより、市・市民・事業者が連携し及び協働し良好な景観の形成によるまちづくりの実現を図り、次世代に引き継ぐことを目的に制定するものです。

予算の関係

議案第21号 平成30年度えびの市一般会計予算の補正(第10号)について

歳入歳出それぞれ12億3,783万円減額し、補正後の予算総額

は142億9,764万2千円となります。

〔主なもの〕

総務費

・心のふるさと寄付金推進費

▲4億1,047万2千円

・農林水産業費

・硫黄山対策費

▲1億6,530万円

（詳細はP. 7を参照ください。）

議案第28号 平成31年度えびの市一般会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ129億8,295万4千円です。

〔主なもの〕

・加久藤橋旧橋撤去工事負担金

1億1,302万円

・移住者住宅取得支援金

720万円

・小規模事業者持続化支援事業補助金

1,000万円

・飯野高等学校起業家育成プログラム業務委託事業

490万円

・保育所施設整備事業補助金

1億2,707万円

（詳細はP. 7～8を参照ください。）

議案第35号 平成30年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について

歳入歳出それぞれ410万5千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ143億174万7千円となります。

〔主なもの〕

・農林水産業費

・担い手対策推進事業

議案第36号 平成31年度えびの市一般会計予算の補正(第1号)について

歳入歳出それぞれ713万1千円を追加し補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ129億9,008万5千円となります。

〔主なもの〕

・民生費社会福祉費

プレミアム付商品券事業

713万1千円

特別会計予算

議案第25号 平成30年度えびの市産業団地整備事業特別会計の補正(第1号)について

歳入歳出それぞれ2,020万円減額し、補正後の予算総額は、7,830万円となります。

議案第32号 平成31年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ845万1千円で、対前年度比9,004万9千円の減額となります。

・産業団地事業費

64万1千円

・公債費

781万円

人事案件

人権擁護委員

委員 木村 純 子氏

委員 松元 幸 雄氏

副市長 杉元 真 一氏

公平委員会委員

委員 徳重 順 子氏

教育委員会委員

委員 前原 こず恵氏

総務教育 常任委員会 報告

3月定例会において、当委員会に付託されました議案10件について審査を行いました。審査の結果、全ての議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第8号 えびの市空家等対策計画の策定について

空家対策を推進するために、空家対策に関する基本的な指針を示すとともに、総合的かつ計画的な空家施策について平成31年度から平成35年度までを計画期間とする『えびの市空家等対策計画』を定める必要があり、今回策定されました。

【計画の構成】

第1章 空家等対策計画の主旨
(計画策定の背景、目的、位置づけ、計画期間、計画対象を記載)

第2章 空家の現状(空き家の現状、実態調査、課題などを記載。空家における課題を、空家の発生と適正管理、空き家の利活用、管理不全な空家の解消の3項目にまとめています。)

第3章 空家対策の基本方針
(第2章の課題を受けて、空き家発生の抑制と適正管理の促進、空き家の利活用の促進、管理不全な空家の解消の促進)

第4章 主体別の役割・組織

第5章 施策の展開(空家発生抑制と適正管理の促進、空家の利活用の促進、管理不全な空家の解消の促進)

Q 数年前の大寒波の際、凍結破損した水道の復旧作業に時間を有した要因の一つが空家の漏水だったが、今回の計画策定において給水状況も調査されたものか。

A 机上の抽出の段階で、まず閉栓している家屋は空家の可能性が高いということもあり台帳に記載し調査した。閉栓があった家屋は全て把握出来ている認識である。

Q 早急に対応していただきたい空家に関する苦情等について、対応はどのようなものか。

A 法に基づいての特定空家対応手順以外で、市民の苦情等の対応については空家の庁内協議を立ち上げ、各課が単独で行うのではなく、市役所全体の関係課で解決に向けて取り組む。特定空

家であるのに関わらず、苦情等が来た場合には、庁内協議にて方向性等を検討し、本人に通知をしたり、本人に助言したりしていく。

Q 自治会内でいつの間にか自宅不在になられ、しばらく経ってから高齢者施設等に入所されたとか、子どもさんの所に行かれたなどとも知ることもある。個人情報なので取り扱いは難しいとは思いますが、自治会長等とも連携を図っていただけると空家対策のみならず、安全対策や防犯対策にも繋がるのでは。

A えびの市空家等対策庁内会議の組織には市民協働課が入っており、自治会との連携も考えている。確かに個人情報関連となるため難しいところもあるが、庁内会議所属課でもある基地・防災対策課の所管となる防災・防犯の面からも考慮し、庁内会議の中で各課の意見を出し合いながら検討していく。

②議案第34号 平成31年度えびの市病院事業会計予算について

Q 平成30年度の入院収益は2億6,132万2千円、平成31年度の同項目は2億8,010万7千円であり、1,878万5千円の増額となっているが、その理由は。

A 今回一般病床50床のうち、平成31年度から(50床分のうち)8床分を地域包括ケア病床に移行予定である。それにより、一般病床を減らした分、2,343万2千円の減額としているが、地域包括ケア病床の導入により、311万2千円の増額を見込んでおり、その差額分が増額となった要因である。

Q 当年度未処理欠損金(累積赤字額)9億3,564万2千円について、平成29年3月に策定・配布された「えびの市立病院改革プラン」をどのように活かすか、今後の病院経営を考えるものか。

A 累積赤字額は平成31年度予算額9億3,564万2千円としており、経営状態が厳しいとの認識はある。えびの市立病院改革プランにも記載してある地域包括ケアシステムを導入することで収入増が見込まれる。現段階では最初の導入年度であるため、8床のうち稼働率を50%として収入を計上している。今後、この事業を行うことにより累積赤字も少しずつ軽減できればと考えている。

総務教育常任委員会
委員長 遠目塚 文美

産業厚生 常任委員会 報告

3月定例会において、当委員会に付託されました議案17件、また前定例会で継続審査としていた陳情第6号について審査を行いました。審査の結果、陳情第6号については賛成・反対の討論があり、挙手による採決の結果は賛成多数により採択すべきものと決しました。議案17件については討論はなく、原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第9号 えびの市景観計画の策定について

Q 今回策定される景観計画は、今後事業等を進めたり、様々なことを制約するものではないとの説明だが、どうなるものか。

A 公共的なものを造るとなると、景観計画を基に協議すること、制約をかけるものではないと考えている。例えば施設を建設する時に、もし県道に係るものであればこれまでは県のみで協議していたが、今後は今回策定した景観計画と見合わせながら、市としてもよい景観を作れるように努める考え方である。

Q 視覚障がいを持っている方が、街中で生活するうえで、色彩について光の関係により妨げ

になつたりするところがある。そういう方に対する配慮等、条例に組み入れる計画はあるのか。また、歩行に困難を生じるとの声も聴いたが、この件に関しては計画策定段階で協議はされなかったか。

A 策定委員会の段階では出なかった。

Q 障がいを持っている方への配慮等、今後調査や協議をし、条例や景観計画に取り入れてもらえれば役に立つのではないか。今後、調査・研究等をしていただきたい。

A 専門家等に話を聞いて、どのような形で条例に反映させられるのか検討させていただきたい。

Q 屋外広告物について、壁面広告や野立て広告など私有

地等に立てられた看板等が、景観に極端に悪影響を及ぼすとなった時は、条例に基づき指摘出来るのか。また、規制はかけられるものか。

A 看板等であれば、屋外広告物ということで、色彩や大きさなど届け対象となる。届け対象物として設置許可を出すか否かの判断は可能である。ただし、現在設置してある物については規制等は出来ない判断している。

Q 既存の物には規制は出来ないものか。

A 担当課でも対策について検討を行い、専門家の話も聞いたが、規制するとすると、今度は逆に看板設置が出来なくなるなど、規制が厳しい状況になり、市民に迷惑が掛かることも懸念される。景観条例による規制は難しく、他の刑法等により取り締まるしかない。

Q 平成31年7月1日施行であるが、今後見直し等も行うものか。

A 必要性が生じた時に変更していきたいと考えている。

②議案第25号 平成30年度えびの市産業団地整備事業特別会計の予算の補正(第1号)について

Q 当初契約の金額と、補正額2,020万円減額となった要因は。

A 減額の要因として大きなものは、実施計画委託料の減額であり当初の契約金額は7,344万円であったが、実施設計の最終段階に入った時点で、(設計中で)分筆の必要がなかったところや、細かな部分での測量の必要がなくなったことが要因である。3月中に変更契約を結ぶ予定となっており、さらに減額となる見込みである。

Q 地方債について、この資金は県の貸付金等であるが、期間はどのくらいか、利子額はいくらになるのか、償還の方法等の全体的な説明を求めます。

A 資金については県の貸付金であり、貸付額の10%を10年で返済するもので、この10%は貸付年度の翌年から返済となる。利子等はない。

産業厚生常任委員会

委員長 西原 義文

予算審査特別委員会報告

平成30年度予算審査 特別委員会報告

3月定例会において、当特別委員会に付託されました議案1件について審査を行いました。

審査の結果、討論もなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以下、補正予算の概要と審査内容の主なものを報告します。

▽補正予算の概要

(1) 補正額 減額12億3,783万円

(各種事業の年度末の確定による減額等)

(2) 補正後の予算総額 142億9,764万2千円

▽主な審査内容

・えびの市のふるさと寄附金

▲2億5,000万円

Q 当初予算の見込みは5億円であった。当初と比べ

ても減額となっているが、主

因は何か。

A 減額補正は、総務省から

の通知がきっかけで「返礼率4割」「地場産品の規定」の見直しが大きく影響している。

・農業委員会交付金事業費

委員報酬金 603万5千円

Q 農業委員会交付金事業は、

能率給として支給とのことであるが、能率給とはどのようなものか。

A 能率給は、農業委員及び

農地利用最適化推進委員に支給するもので、活動実績として月額報酬とは別に支給するものである。

基盤強化法による担い手への農地集積部分の活動が、報酬の対象となる。

平成31年度予算審査 特別委員会報告

3月定例会において、当特別委員会に付託された議案1件につ

て審査を行いました。

質疑終了後、委員から予算の修正議案が提出されました。その内容は、民生費老人ホーム運営事業費、選定委員会委員報酬金4万6千円を削除するものです。

・提案理由の要旨

本件については、高齢化が進む本市において、直接市民に影響を及ぼすことが懸念されることから譲渡先の選考委員会の設置は時期尚早である。まず民営化を検討する委員会などを設置し、問題点を検討して対策を見いだした時点で、選定委員会を設置すべきであるとの考えから減額修正するもの。

提案理由説明後、修正案に賛成し、原案に対して反対する討論が2件あり、市議会会議規則の規定により採決を行った結果、賛成多数で修正案は可決すべきものと決しました。修正案が可決されたため、修正部分を除く原案について採決を行った結果、修正部分を除く原案は可決すべきものと決しました。

議案第28号平成31年度えびの市一般会計予算について、予算の概要と審査内容の主なものを報告し

ます。

▽予算の概要

(1) 予算総額

※修正案可決後、予算総額
129億8,295万4千円

(2) 主な事業

① 上江保育園施設整備事業補助金

1億2,707万円

② 加久藤橋旧橋撤去工事負担金

1億1,302万円

(3) 新規事業

① 移住者住宅取得支援金

720万円

② 小規模事業者持続化支援事業

補助金

1,000万円

③ 飯野高等学校起業家

育成プログラム業務委託事業

490万円

▽主な審査内容

・地方交付税

36億7,025万6千円

Q 普通交付税、特別交付税に硫黄山噴火に伴う財政

措置が反映されているか。

A 特別交付税で活動火山対策

策に対する経費に一部措置される。措置されない部分は特

殊財政事情として県に申請して措置をお願いする。

Q 硫黄山関連の特別交付税の見込み額は。

A 活動火山対策の経費と、特殊財政事情の経費で5,638万円程度を交付税として見込んでいる。

・民生費
老人ホーム運営事業費
選定委員会委員報酬金

4万6千円

(※選定委員会委員報酬金は、老人ホームの民間への譲渡先を選定するための重要な予算であることから、市議会会議規則により市長の出席を求め審査を行いました。)

Q 「選定委員会」報酬金を「検討委員会」報酬金に変更する考えはないか。

A 平成32年度以降の経営方針を民営化で進めていき

Q 民営化して経営が行き詰った時に、閉鎖されるようなことがあった場合の対応はどう考えるか。

A 経営状況の分析や指導もしていく。県内でも民営化されているので、十分安定的な

サービスはできると考えている。

Q 超高齢化社会を迎える中で、公の施設が無くなることは非常に不安である。市長はどのように説明されるか。

A 民営化になれば病院と連携をとりサービスが提供できる。また、市が持っている責任や市が関与する部分も残っているため、現在、利用している方も、引き続き残れることを説明する。

Q 第三者委員会で協議して、議事に再度提出する考えはないか。

A 選定のプロセスとか、契約のときに担保を取っていくので第三者委員会で審議する必要はない。今のこの判断を議会で議論していただき、結論を出していただきたいと思います。

Q 真幸園への入居希望者の状況は。

A 2月末現在で希望者は24名である。今も相談があり増えている。

・民生費保育所施設整備事業補助金

1億2,706万6千円

Q 上江保育園の施設整備とのことだが、場所はいま

の所か。

A 現在の所に建替えの予定である。

・農林水産事業

水田農業緊急支援事業補助金

6,194万円

Q 機械導入の支援とのことだが、どのような補助金か。

A 稲作ができない地域が野菜等の作付けへ転換する際、機械導入を必要とする営農法人等への補助金である。

・商工費小規模事業者持続化支援事業補助金

1,000万円

Q 支援事業補助金であるが、どのようなものを予算計上しているか。

A 新規事業であり、店舗の改修・改築と設備の改修・購入(上限100万円)及び、販路拡大(チラシ、広告等上限50万円)で補助率2分の1である。

・商工費 キャンプ村管理費

工事請負費

4,289万6千円

Q えびの高原の入込客を考えたときに、費用対効果を見込んで計画されたのか。

A 県自然公園等総合整備事業補助金を活用する工事で、平成31年度ケビン3棟の工事で完了する。利用しやすいえびの高原キャンプ村に整備して、利用率向上を図っていきたい。

・教育費部活動指導員報酬

100万8千円

Q 外部指導員の任用の仕方を示していただきたい。

A 外部指導者のベンチ入り申請者10名の内、指導員希望者の3名に正式に委嘱して活動していただくと考えている。

予算審査特別委員会

委員長 北園 一正

自分ごととして捉え、考える大切さ！



遠目塚 文美 議員



質問 今年3月から、国内製造

可能となった液体ミルクの販売が始まった。子育て支援の一助として、また防災非常用品としても関心が高まっている。平時から正確な情報等を周知する必要がある。乳幼児健診と併わせて、防災に備えての話も実施してはいかがか。

健康保険課長 安全に授乳出来るよう、乳幼児健診等で周知する。

質問 災害時のトイレについて、情報等の周知に努めているか。

基地・防災対策課長 水を使用しない自動ラップ式トイレの備蓄を年次計画で進めている。

市長 自宅の既存トイレの活用

方法等も含め、十分研究していく。
質問 市制50周年を迎えるにあたり、オリジナルデザインの婚姻

届や出生届を作成してはいかがか。

市長 戸籍法改正に伴う国の考

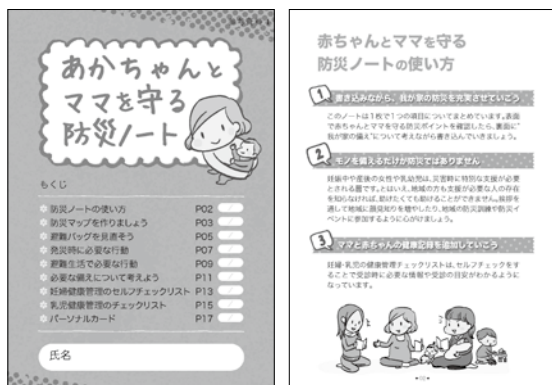
えを整理し、前向きに取り組む。

質問 学校で実施するアンケート

ト等の取り扱いについての規定は、

学校教育課長 子どもの安全を

第一に考え、通告元を明かさな
い、用紙を見せないことを徹底し、
教育委員会・福祉事務所・ソ
シヤルワーカー・スクールサポー
ター・警察・弁護士とも連携を
図る。



平時から災害に備えておくことは重要

介護保険サービス充実にむけて!!



金田 輝子 議員



質問 高齢者が住み慣れた地域

で介護に頼らない自立した生活
をおくる対策として、百歳体操も定
着してきている。しかし、その先
が見通せない部分もあり、高齢者
が自立して生活出来る介護保険
サービスの提供をどのように考え
るか。

介護保険課長 日常生活に支障

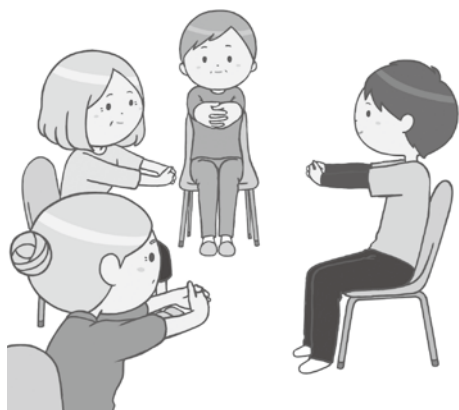
のある人を対象に、通所型短期集
中予防サービス事業として、健康
改善を目的とした介護予防プロ
ラムを計画している。それにより、
短期集中的に自立した生活を送る
ためのサービスを提供する。

質問 身体が思うように動かず、

食生活もままならない高齢者が全
国的にも増加するなかで、本市よ
り介護保険料が千円安い日向市で

は、病人食や普通食が安いコスト
で配食されている。また、介護予
防のリハビリが無料で受けられる。
本市もこの素晴らしい取り組みを
実施する予定はないのか。

市長 安定的なサービス提供が
必要である。行政と地域が一体と
なって取り組み、別のサービスを
提供しながら、高齢者の負担を減
らして、健康寿命を伸ばす施策に
取り組んでいく。



赤子川の水質浄化を急げ!!



田口 正英
議員



質問 障がい者を含むあらゆる人の命を守る、誰も取り残さない防災を「インクルーシブ防災」ということで、地域や社会全体で障がい者を包含し、災害発生時のスムーズな避難誘導や救援につなげるために聴覚障害者用のベストの導入を検討する考えはないか。

市長 地域社会全体の理解が大事であり、環境作りに努めていく。

福祉事務所長 聴覚障がい者団体との協議をしながら、今後検討していきたいと考える。

質問 代替水源の確保について、岡元用水路から下流域の上島内地区への用水確保の見通しは。

農林整備課長 上島内地区、一部中浦地区については、岡元用水路から補給元となっているため水



根本的解決が望まれる硫黄山噴火による白濁対策

源の確保が厳しい。他の水系から取水できないか調査をしていく。

市長 白濁の影響を受けている地域については抜本的な水質改善が必要である。今後、地元と協議しながら進めていく。

質問 赤子川の酸性化が緩和される対策については恒久的な対策が必要であるが、今後の対応は。

市長 当初から県や国に要望しており、今後も更に継続していく。

福祉サービスの充実を



小宮 寧子
議員



質問 若い世代の子育て支援として出産祝いを配布する考えは。

市長 祝い金という名目ではないが、今年度は出産支援助成金を増額して予算に計上している。

質問 母子健康包括支援センターにおいて、虐待を未然に防ぐための取り組みは。

健康保険課長 母親の育児不安や精神状況をアンケートや面談で把握し、必要に応じて家庭訪問等による個別支援や福祉事務所への情報提供、医療機関との連携を図っている。

質問 認知症による行方不明者が増えている。見守り体制は。

介護保険課長 各地区の民生委員が認知症で心配のある高齢者に対し番号のついた「安心お助け

テープ」を杖やシニアカーなどに貼り付けている。行方不明になり発見された場合は、警察署が社会福祉協議会へ連絡しテープの番号から個人を特定し、民生委員や家族へ連絡がいく体制になっている。

質問 成年後見制度の利用促進に向けた西諸広域での協議は。

介護保険課長 今年度から西諸広域連携による体制整備を図るため、調査研究を進めている。

高齢者の見守り対策

あなたの安全と安心のために!!

是非、安心・お助けナンバーテープの活用をお願いします

えびの市民生委員・児童委員協議会では、ひとり暮らし高齢者の方々や障害をお持ちの方の安心安全を願い緊急時の対応策として、取り組みを行っています。

【使い方】 靴、杖、バッグ、手押し車、セニアカー等
 着るべく目のつくところに貼ってください。
 (貼着方あまり多くないで後や手の触れない所が良いです。)
 ☆1人にも必ずお配りします。

【こういう時に役立ちます!】
 ★外出時の転倒や事故等身元が分からない時に本人の確認ができる。
 ★なくしてしまったり忘れてしまった時にも発見しやすい。

えびの市民生委員・児童委員協議会

一 般 質 問

稲作断念した全てに支援を



西原 政文
議員



質問 霧島演習場は、採草など入会権が侵害されている。今後、ワラジなどの山菜が採れるように対策を取るべきだ。これは、市道廃止した市長の責任だ。

市長 演習がない時は入れる。入会権侵害はないと考える。

質問 平成31年度西郷地区は、水が足りないということで稲作を断念する。これにより島内地区の一部は作付け可能となった。平成31年度のえびの市の支援策を西郷地区全て対象とすべきだが、どうなっているか。農家への説明はどのように行う予定か。

畜産農政課長 堂本水系でない

西郷地区は対象となる。説明会は3月27日に3箇所で行う。対象地区の確認は水利組合にお願いをす

る。

質問 新水源対策はどのようになっているか。

農林整備課長 作ヶ倉川については防衛省と協議中であり、岡元地区は地下水利用について電気探查を行っており、調査中である。新田川及び浜川原湧水、長谷川は、配管をどう通すか検討中である。他に旧池島川土地改良区、旧昭和土地改良区とも調整中である。



演習場内を通過していた市道入口
(代替えの新設道路完成のため廃止)

養護老人ホーム「真幸園」の今後の運営について



小東 和文
議員



質問 平成31年度予算審査特別委員会の中で、老人ホーム真幸園運営事業に関して、詳細な説明がないままに選定委員会委員報酬金が予算計上されるとのことで問題提起された。結果、修正案の可決となったが、今後どのように判断していくのか。

市長 執行部としては全員協議会で伝えたと思っていたが、メリット、デメリットが伝わっていないと意見をいただいた。そういったところを詰めていくべきだった。修正案の可決となれば、それを受けて新たな提案をしていく。

質問 議会は地域の課題を解決して地域の将来を創造する権利を持っている。この「道の駅を拠

点としたまちづくり構想」の思いとして、西側への拡張の設計・調査・審議を行い、行政として市の将来に向けた目標、方向性を見出し、更なる交流人口の増加・観光・情報発信の拠点とすべきだ。

市長 現状、売り場・駐車場を拡張した部分もある。西側に新たな機能を持たせるかどうか、そういった点も今後も引き続き、道の駅開発のみならず検討していく必要があるかと考えている。



市内唯一の養護老人ホーム真幸園

将来を見据えた政治判断を願う



竹中 雪宏
議員



質問 硫黄山噴火に伴う抜本的対策は現行法では厳しい。市民が安心して生活を営むためには、新法律の整備が必要不可欠。今後の取り組み方を示せ。

市長 国において特段の取り組みは頂いているが、新法律の制定までは至っていないので、実情を訴え国と共に解決していきたい。

質問 牛白血病の対策として、全頭検査の防疫対策を講じ、検査料金等の経費を支援する考えは。

市長 西諸の協議会で検討する必要があるので、農家の皆さん方の意見を聞いてみたい。

質問 景観条例の中で、支障木や看板等の撤去の考え方は。

市長 景観作りの意識付けが最初のスタート地点と思っているの

で地域の皆さんとしっかり携わっていく。また、既存の看板課題についても解決したいと思っているが、なかなか難しいところである。

質問 飯野高校を守り育てるために、特色のある学校作りの一環として給食の提供はできないか。

教育長 県の受入れ体制を整備していただければ、要望に応えることは可能になってくると思う。



安心安全な畜産経営対策支援

市政運営への参加意欲の高揚を



松窪 ミツエ
議員



質問 市長答弁報告書で職員提案制度（規程）の見直しの完了報告を受けた。改善の内容を伺う。

総務課長 事務改善規程であったものを、職員からの事務改善、行政施策等に関する提案を奨励し実施することにより、職員の改善意欲、市政運営への参画意識の向上を図り、住民サービスの向上及び事務事業の改善に寄与することを目的として改善を行った。

質問 提案の内容を伺う。

総務課長 市職員が提案し易い具体的内容を5項目規定した。

- ①住民サービスの向上に関すること
- ②事務効率の向上に関すること
- ③経費の削減に関すること
- ④行政施策に関すること
- ⑤その他、公営上有効と認められるも

の

質問 提案の採否決定法と採用決定後の対応は。

総務課長 庁内審査委員会を設置し、採用後実施の結果が優秀であれば表彰する。

質問 市長の見解を伺う。

市長 常に新しい角度で政策を見直すことは大事。職員の身近な提案も含めながら政策立案能力のさらなる高揚につなげていきたい。



職員の意識向上が市政運営に大きな影響を与える

一 般 質 問

誘致企業の見通しを 立ててから団地造成せよ！



中山 義彦
議員



質問 県で調査・測量に着手している長谷川・浜川原池からの水源事業の一部分を、市の事業として取り組むものはないか。

農林整備課長 長谷川・浜川原池は大事な水源として県が進めている。県で採択できないものについては、国・県の補助を頂いて市で行う事業もあると考える。

質問 昨年10月に産業団地への大型企業の進出が難しくなったとの市長説明があった。市民への説明は行ったのか。

市長 詳細設計が仕上がったら説明する。

質問 優良企業の誘致は非常に厳しく、昨年の大型企業が回答しなかった反省も踏まえて、企業誘致の見通しが6〜7割ついた時点

で造成に着工することを提言する。
市長 交通の便の良さを生かし、売る土地を作って企業誘致を進めていく。

質問 丸正フーズとの工場建設の交渉について伺う。

市長 造成に公費を使っていることから、えびの市との信頼を保たなければならぬとの丸正フーズの答弁もあり、なるべく早く設計等を出して頂くように要望した。

■産業団地計画図



の部分が産業団地計画地 ※えびの市工業（産業）団地基本整備計画作成時の計画地

産業団地予定場所

飯野・上江東部開発を!!



吉留 優二
議員



質問 東部地区飯野駅前周辺と国道221号線の市街地整備、商業政策を積極的に取っているのか。

市長 都市計画マスタープランの中で東部地区計画を持っている。観光商工課長 再生協議会等を立ち上げ、地域の課題を整理された上で振興策をまとめて頂ければ、それに対して行政も加わり、協力支援できることを検討していく。

建設課長 医療施設や福祉施設等の生活拠点とし、国道221号線、県道京町小林線、えびの中央線を東西の軸として、県道えびの停車場線、県道原田杉水流線を南北の軸として円滑なアクセスを図る。川内川一帯に広がる水田地帯や中山間部に広がる畑地を保全し、住環境と営農活動の調和を図る。

質問 上江まちづくり協議会に調理施設が必要だと思いが、調理施設を設置する考えはないか。

市長 協議会設立の時も要望があったが、他のコミュニティセンターも、なかなか調理施設の活用がされていない。あれば便利だと思いが、現在ある小学校の調理施設や、それぞれの自治会の調理場などを活用していただきたいと考えている。



飯野駅前周辺と国道221号線の開発を

自衛官募集に理解を



蔵園 晴美
議員



質問 昨年、県と自衛隊宮崎地方協力本部は退職自衛官の県内企業への再就職を支援する協定（全国初）を結んだ。専門知識や、技能を持つ貴重な人材と人手不足に悩む県内企業をマッチングさせるのが狙いだ。募集環境が厳しい中、しっかりサポートしていきたい。自衛隊の若年定年者が地域の人材不足、危機管理能力の強化。ひいては地域の活気に結び付く。河野知事は、大海原に泳ぎだしたサケが大きく成長して故郷の川に戻って産卵するイメージと、自衛官として成長し、退職後に故郷に帰り貢献する姿が重なって「サケの川のほり作戦」とネーミングしている。県防衛協会えびの支部長である市長は、募集についてどう対処

するか。

市長 募集は厳しい状況にあり、全体的に苦勞されている。関係団体とともに、自衛隊との共存共栄で理解を深めて頂くよう情報を発信していきたい。

質問 えびの駐屯地増員・増強の中央要望等について、市広報で市民への周知ができないか。

市長 要望活動は好印象。成果現状などPRできればと思う。



市民とともに防災訓練に臨む自衛隊員

加久藤小学校（6年生）
議場見学



えびの市立加久藤小学校6年生が議場見学に来ました。議長席・執行部席・議員席、それぞれに座って実際の議場の雰囲気体験してもらいました。代表者は質問席に立ち、実際に議員が質問等行うのと同じように事前に考えた質問を発言しました。みんな緊張した面持ちでしたが、予算や福祉に関して、また議員の数や議案等の勉強の仕方、定例会がない時の議員の活動についてなど、熱心に質問していました。

議会傍聴
しませんか



えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告をうけます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。手続は本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやエチケットは、お守り下さい。

一般質問にある
QRコードは何？



〇〇 〇〇
議員



このQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画を観ることができます。

◎ 委員会視察報告 ◎

総務教育 常任委員会

■日時・場所
平成31年2月14日(木)
えびの市文化センター

■目的
平成30年度えびの市教育研究論文表彰式・各部会等報告会及び一貫教育講演会

■内容
文表彰式・各部会等報告会及び一貫教育講演会

平成30年度えびの市教育研究論文では、えびの市内の小・中学校の先生方の中から、小学校34本、中学校33本の応募があり、今回は最優秀賞に、確かな学力を身に付けるアクティブラーナーを育成するための「書く力・伝える力」の育成に着目して研究をされた飯野小学校の高須翔太教諭が受賞されました。優秀賞には、「根拠を元に理由や感想を書く力」を育成するための研究をされた加久藤小学校の岩下麻美教諭と、算数科における「主体的・対話的で深い学び」を実現するために学習スキルの育成に着目して研究をされた飯野小学校の緒方啓亮教諭、また国語科学習への意欲を高め言葉を大切に指導の充実を目指す研究をされた飯野小学校の坂本美香教諭の3人が受賞されました。日々の多忙な業務の中でも、熱心に研究に取り組まれている姿勢を感じました。

一貫教育講演会では「道徳の教科化に思う」と題して特別の教科道徳で目指す道徳化指導の在り方について、宮崎公立大学の曾我文敏氏が講演され、道徳の教科化は、考え議論する道徳が重要であり深まりのある会話・授業の展開が求められているとの内容でした。

総務教育常任委員会
小宮 寧子



日頃の研究成果を熱心に発表される先生

産業厚生 常任委員会

管内調査報告

■日時・場所
平成31年1月10日(木)
えびの市内において不法に伐採された山の調査(えびの市原田地区八幡ヶ丘において無届にて伐採された山林)

■視察内容
不法に伐採された面積12アール(スギ・ヒノキ合わせて約150本)現場は、重機での伐採が行われており、山の地肌がむき出しになっているところもあり、大雨の時などの土砂流出など心配されます。

現場では、関係者から説明を受けました。関係者の話では、伐採業者の代理人と現地確認と打ち合わせをしたが、その後、伐採予定でなかった他の所有者の山林が伐採されていたとのことであり、伐採について業者は、自己所有の山林と間違えて伐採したとの説明でした。これについては伐採届も出ておらず、市としての対応は森林法違反で指導書を発行し、指導したとのことでした。

今回の問題は、持ち主の知らない内に伐採されたことと、不法伐採された材木が市場に流通していることであると考えられます。

委員から、今回の伐採業者からの伐採申請は保留すること、告発が出た時には市としても対応を検討し、伐採の一時差し止めなども考えるべきではないかとの意見もありました。

市のかたと認識は、流通については調査のしようがないが、今回の問題は、地形の誤認や境界線の確認不足によるものとの説明でありました。

産業厚生常任委員会
西原 政文



伐採現場視察 (産業厚生)

産業厚生 常任委員会

管内調査報告

■実施日
平成31年2月4日(月)

■目的
(1)硫黄山噴火対策に伴う各課の平成31年度の取組等について
(2)委員会からの提言

■審議内容

水質改善については、業務委託したコンサルタントから2月に今までの報告があった。代替水源については、堂本水系は稲作を再開することとなり、上浦地区は電気探査で近水源の状況を調査した。営農については、営農対策連絡会議やえびの市農業再生協議会の臨時総会を開催し、農家支援策等について協議した。水質の監視については、飲用井戸水等のモニタリング調査や農業用水の水質検査を実施し、検査結果は、水道法・水質基準・農業用水基準に適合しているとの説明であった。また、平成31年度の取組については、重金属への対応は県で対応していく。堂本水系のセンターは6月完成の予定である。農家支援については、代替作物生産の機械導入時に支援する。県の支援策は、今後の営農会議で方針が出るので平成31年度9月補正予算で対応する。なお、湧水町とは情報交換、情報共有を図っていくとの説明であった。

また、委員からの提言として、具体的・抜本的な代替水源対策を国・県に要望するよう強く求めた。

産業厚生常任委員会
委員 中山 義彦



硫黄山に関する知事要望 (産業厚生)

議員研修会報告

平成31年度 宮崎県市長会研修会

■実施日

平成31年1月7日（月）

■場所

宮崎観光ホテル（宮崎市）

■目的

地方創生を牽引する新しい地域産学官連携の実例

■検証

20年以上前から国に対して、産学官連携の必要性や6次産業化等を提言されている、地域産学官連携の第一人者でもあられる東北大学大学院工学研究科教授の堀切川一男氏を講師に迎えての講演会でした。

『仙台堀切川モデル』『福島堀切川モデル』と呼ばれるほど、数多くの実績を作られています。先生の考えには、「地方の中小企業は可能性に満ち溢れている。その可能性を引き出すのが産学官連携であり、大企業と取り組むことには興味はない。地方の中小企業だからこそ、その秘めた魅力があり、そのアイデアの背中を押してあげるのが私の仕事です。」と、とにかく地方の中小企業に着目して、これまで様々な商品開発等に関わっていらつしやいました。中小企業の多いえびの市でも、今、当たり前前に考えているコトやモノが、実は大きな可能性を秘めているかもと考えると、その背中を押す役割（人材）は大変重要で貴重だと感じました。

遠目塚 文美

西諸地区森林、林業、林産業活性化議員連盟連絡会議 議員研修会

■実施日

平成31年1月28日（月）

■場所

KITTO 小林 2階

■目的

西諸地区地域の森林、林業の現状と課題

■検証

「新たな森林経営管理体制について」という演題で、西諸地区森林組合の長倉参事による講演があった。経営管理が行われていない森林については、市町村が仲介役となり、森林所有者と林業経営者をつなぐシステムを構築して担い手を探すこととし、来年から市町村が管理出来るようになる。また、森林組合が考えている誤伐・盗伐の要因として、森林への関心が薄く処分したい人が増加している所有者不在林や高齢者所有林で、誤伐・盗伐の発生が増えている。また、木材価格の安定により伐採業者や仲介業者が増加しており、その結果仲介業者が介入することによる誤伐が多い。今後の課題は、計画的かつ確実な伐採後の植栽・保育等を実施しなければならぬことであった。

金田 輝子



2市1町の議員合同での林活議員研修

第27回人権について考える県民の集い 部落差別をなくす宮崎県民啓発研究交流会報告

■日時・研修先

平成31年2月1日（金）・メイキット県民文化センター

■研修目的

教育、就労、結婚、インターネット等において現存する陰湿で悪質な部落差別が現実にある中、部落差別の撤廃と人権社会確立に向けて、どのように連携していけばよいか記念講演をはじめに、企業部門、解放運動部門、特別報告の3部門の研修を行うもの

■研修内容

演題「部落差別の実現に学び、人権社会確立をめざす」という事で、講師に部落解放同盟中央本部書記次長の吉岡正博氏の講演がありました。次に、各部門報告交流会として企業部門「宮崎太陽銀行の人権啓発の取り組みについて」宮崎太陽銀行人事部長人権啓発グループ馬崎祥太氏が、人権啓発に関する研修などの取り組みについての報告。解放運動部門「ともに差別をなくす取り組み」として、部落解放同盟宮崎県連合会、仮谷龍一氏が、部落解放運動を通して、考えてきたこと、体験してきたことについての報告。最後に、特別報告「部落差別解消推進法を人権のまちづくりに活かす」として、えびの市総務課人権啓発室長、二ノ宮良次氏、日向市地域コミュニティ課人権・同和行政推進室長、黒木真氏による「部落差別解消推進法」ということで次の報告がありました。施行から2年経ち、各自自治体はこの法律の意義と課題をどう受け止め、生かしていくかが問われています。両市の条例化の動きなど、地元の人権啓発の取り組みについて報告がありました。研修内容の中で、えびの市の取り組みとして、差別のない明るく住みよい地域社会の実現を目指しており、そのために必要な施策として、人権擁護委員会による特別人権相談所開設や人権を考える市民の集い演説会、人権セミナーなどを行い、人権啓発協調月間、女性に対する暴力をなくす運動、人権週間などでは啓発推進に取り組んでいることなどの報告がありとても勉強になる研修でありました。

吉留 優二

介護従事者を確保するために実効性のある対策を講じることを求める意見書

昨年、2017年介護報酬臨時改定で処遇改善加算の拡充が図られたものの、今年の改定では目立った対策は講じられず、介護従事者と全産業平均との給与差（月で約10万円）を埋めるにはほど遠い状態である。

処遇改善加算については、算定の対象となる職員の限定、手続の煩雑さ、利用料への反映といった問題が改善されないまま推移している。処遇改善は、利用料の引き上げに直結する介護報酬ではなく、一般財源で対応し、対象の拡大などの改善を図るべきである。

介護事業所では、担い手不足が慢性化・深刻化の一途をたどっている。施設を全室オープンできない、新規利用者を受けられないなどの事態も広がっており、地域の介護需要に応えきれない状況が生じている。介護福祉士の養成校では定員割れが続いており、養成過程の縮小や廃校を余儀なくされた学校も出ている。

介護労働安定センター「2017年度介護労働実態調査」（回答8,782事業所）では、職員が不足していると回答した事業所が約3分の2（66.6%）で過去最高となり、特に訪問介護では82.4%の事業所が不足を訴えている。また福祉医療機構が特別養護老人ホームを対象にした調査（2018年2月調査、回答628施設）では、64.3%の施設が「職員不足」と回答し、このうち12.4%が「利用者の受け入れを制限している」と答えている。

第7期介護保険事業計画の集計では、2025年度はすべての都道府県で職員の需要数が供給数を上回ることが見込まれており、全国で33万7千人、宮崎県で3,609人の「供給不足」が予測されている。

こうしたことから、介護従事者の処遇を改善し、介護の担い手確保は、一刻も早く手だてを講じるべき課題であると考えます。

よって、国に対して、介護現場の人手不足を解決するために、介護従事者の賃金・労働条件を大幅に改善し介護の担い手確保のために実効性のある対策を講じることを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成31年3月20日

宮崎県えびの市議会

議員別表決

「表決が割れた」議案等とその議員別表決

議案等賛否一覧表（※賛否が割れたもののみを掲載しています。）

議案番号	議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果
		上原	小宮	吉留	金田	中山	遠目塚	小東	田口	松窪	北園	竹中	西原(義)	西原(政)	蔵園	栗下	
議案第28号	平成31年度えびの市一般会計予算についての修正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	可決
	平成31年度えびの市一般会計予算について(修正部分を除く原案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	修正可決
陳情第6号	介護従事者を確保するために実効性のある対策を講じることを求める意見書を国に提出することを求めることに関する陳情書	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	採択

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 欠：欠席 -：棄権 /：議長は採決に加わりません
 ※議案第6号から議案第27号、議案第29号から議案第34号までは西原政文議員は棄権

議会日誌

【平成30年12月】

13日 12月定例会【閉会】

19日 議会広報特別委員会

26日 議会広報特別委員会

27日 議会運営委員会

【平成31年1月】

4日 新春賀詞交歓会

5日 えびの成人式

6日 えびの市消防団出初式

7日 宮崎県市長会研修会

8日 議会広報特別委員会

10日 産業厚生常任委員会

11日 九州きりしまえびの地方

18日 熊本県長洲町議会

21日 鹿児島県湧水町議会

28日 議会運営委員会

29日 加久藤小学校6年生

神奈川県葉山町議会

行政視察受け入れ

議会見学

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

高千穂町議会行政

31日 1月臨時議会

全員協議会

総務教育常任委員会

1日 人権について考える

4日 産業厚生常任委員会

14日 奈良県大和郡山市議会

えびの市教育研究論文等

表彰、一貫教育講演会

20日 議会運営委員会

18日 西諸広域行政事務組合

にしもろ産学金官

交流講演会

佐賀県吉野ヶ里町議会

行政視察受け入れ

京町温泉駅観光交流

センターオープン式

議会運営委員会

えびの市生涯学習

振興大会

3月定例会【開会】

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

行政視察受け入れ

編集後記

今年5月より平成から令和に元号が変わり、新しい時代の幕開けとなります。季節も暖冬から春へと移り、爽やかな風が心地よく新緑とともに水温む情景が目に見える今日この頃です。しかし、硫黄山噴火による白濁は、一年経った今も終息の日処が立っていません。代替水源の確保や観光客の減少等、喫緊の課題が山積みしており、行政と議会が一体となって一日も早い解決に向けて取り組んでまいります。また、議会だよりは、今後も市民の皆様へ解りやすく、見やすい広報誌であると好評を頂けるよう研鑽を積み、市民の皆様への声を反映した議会活動を心掛けるとともに、その内容をお伝えしていきます。

議会広報特別委員会

中山 義彦

